

オン・オフ切り替えでぶれない農業を！



熊坂 奨太さん

【出身地】寒河江市
【就農前の仕事】造園業
【就農地】寒河江市
【就農年度】令和元年度
【経営概要】さくらんぼ60a
なす10a

寒河江市で生まれ育ち、幼い頃から食べていた山形県を代表する特産品のひとつであるさくらんぼを作りたいという気持ちが高まり、造園業から農業に転職しました。

実際に就農してみて、作物が実るまでの作業がとても楽しく、働いた分だけ実績として返ってくる農業という仕事に、満足感や達成感を感じています。

自分で仕事のスケジュールを組み、作業をやる時はやる、休む時は休む、というようなオンとオフの切り替えができ、メリハリのある生活ができるところが最大の魅力です。

一方で農作業から経営までのすべてを1人で担うことの責任の重大さも実感しています。また、なすの栽培はまだ知識が不足しているので、周りの方に教えていただきながら

経験を積む毎日です。

さくらんぼは、天候の影響を受けやすい作物ですが、今年は霜の被害に遭い、同品種だけでなく様々な品種があった方が、自然災害時のリスク回避ができると反省しました。今後は自然災害への対策もしっかり考えていこうと思っています。

今後の目標は、品評会で賞をもらえるような品質の良いさくらんぼを栽培していきたいということです。去年、JAさがえ西村山主催のさくらんぼ品評会で「優秀賞」をいただくことができ、大きな自信に繋がったので、これからも引き続き努力を続けていきたいです。

< これから就農を目指す人へのアドバイス >

就農には、ぶれない強い気持ちが必要で、目標をもって取り組み、失敗してもそこから学んで初めて成長できると信じ、頑張してほしい。